

一人ひとりが心豊かに
生きがいのある人生を
送れるように支援します

生涯学習だより

尾木直樹氏による
教育講演会が開催されました

5月31日(日)、下野市青少年育成市民会議総会の後、市民会議と下野市PTA連絡協議会との共催で、テレビのニュース番組などのコメンテーターとして有名な、教育評論家の尾木直樹氏を講師として迎え、「子ども現状と大人の役割」を考えよう、子どもたちの今」と題した講演会を開催しました。

尾木先生の流暢な語り口と時折入るジョークに、参加者は引きつけられました。
現在、先生が教授として授業を受けもっている大学生の考え方を参考に、発達の違いに子ども達の心境と、友達が群がる目的のデータを組み入れての講話でした。
資料の、『孤独を感じる子ども達』の数に私達は驚かされました。諸外国の数値が10%前後

ではないのに比べて、日本は30%もの子ども達がそう感じているというのです。

また、手書きの資料で、子ども達が携帯電話やインターネットにかけている時間が示されていますが、「本当に？」と思う反面、現実に子ども達の通学の電車での姿や、携帯電話を片手に自転車に乗っている姿が思いつき、先生のお話が現実性を帯びて、とても身近なものに感じられました。

最後に、諸外国と日本の教育方針が違うことに触れられていましたが、世界では本当の「生涯学習」がなされているということがとても印象に残りました。

今回の講演会は、市民会議の担当者として非常に参考になりました。

今、尾木先生の『いま、開国の時ニッポンの教育』を楽しく読んでいます。

(下野市青少年育成市民会議 事務局 藤沢 修一)

下野市青少年育成市民会議だより

市民会議からのお願いとお礼

5月31日(日)に、南河内公民館で平成21年度市民会議の総会を開催しました。3年目を迎え、活動内容も少しずつですが、市民の皆さまにご理解をいただけるようになりました。代議員を務めていただいている各自治会長様の約100名の参加をいただき、昨年と同様に映像を加えた報告をしました。

事業報告では、すでに広報誌『美薔』の中でも報告しましたが、中学生を主体に携帯電話のトラブル防止講演や文化的なN響演奏会、そして子どもパフォーマンス事業を開催しました。今年度も内容的には同じ事業を継続して開催できるように努力していきたいと考えています。また、平成20年度の決算及び21年度の予算についても併せてご承認を頂きました。今年度の予算中で、総会に使用しました映像機器を購入し、更に市民の皆さまにご利用いただけるように貸し出しを実施していきます。

最後になりましたが、今年度の会員募集と会費の集金業務について、前年度総会でご指摘をいただきましたので、総会以前になりましたが発送及び集金の依頼をお願いしております。市民の皆さまのご理解とご協力を重ねてお願いいたします。更に今年度は右の活動計画をもって行動したいと思っております。

下野市青少年育成市民会議 会長 倉井徳勇

平成21年度活動計画

昨年に引き続き、部会に分かれての活動となりますが、役員総出で対応しなければ事業ができません。新しく理事にご就任いただいた皆さまのご意見と理事会への出席及びご協力をお願いします。

今年度の重点目標として、青少年の活動に直接関係している市子ども会と市PTA連絡協議会との連携を強化して、市民会議の目指す地域協力体制にもっていきたいと考えます。

啓発活動 従来どおりですが、『家庭の日』推進啓発を中心に各事業時に啓発活動を強化したく考えています。

講演会・イベント 昨年実施した携帯電話のトラブル予防講演は、今年度も市内の小中学校を対象に実施したく思います。更に手始めとして今回の総会の後、PTAとの共催で教育講演会を実施しました。

子どもパフォーマンスは、参加者を増員できるようにPRを早く実施していきたいと考えています。

支援事業 恒例になりましたが、子褒め事業の協力と青少年活動に関する援助活動も継続して実施します。

広報事業 広報誌『美薔』MIRAIの発行と、その中で、クイズやシンボルマークなどの検討にも着手していきたいと思っております。

下野市青少年育成市民会議 事務局